

麻布大学同窓会栃木県支部総会の概要について

令和7年4月27日に、宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」において、令和7年度の栃木県支部総会及び懇親会を開催いたしました。

当日の支部総会は、同窓会本部から、小動物外科学研究室青木卓磨准教授を来賓にお迎えし、定期総会及び講演会を開催しました。

総会では、鮎田安司支部長(昭和49年卒)の挨拶に続いて、来賓である青木准教授に御挨拶を頂きました。議事では、令和6年度収支決算及び7年度予算案のほか、令和7年度大学祭への宇都宮餃子実演販売の実施、役員改選などについて審議を行い、原案どおり承認されました。閉会に当たって、磯日出夫新支部長から、当支部の発展のため尽力していきたいとの宣言がなされました。

講演会では、「麻布大学の近況と最新の小動物心臓外科」と題して、令和6年1月15日にリニューアルオープンした動物医療センターの最新設備の紹介のほか青木先生が論文発表されたループテクニックによる僧帽弁疾患の手法を含めた最新の心臓外科について御講演いただきました。

その後の懇親会は、青木准教授を囲み楽しい懇親会となりました。

栃木県支部は、平成24年度から栃木県人会の再立ち上げを支援し、その後も毎年県人会の開催を支え、支部と学生との交流を深めてきました。近年、コロナや本県での豚熱発生により開催を中止していましたが、今後の同窓会の維持・発展のため、県人会の開催を再開したいと思います。学生と同窓会の関係を持ち続け、学生の皆さんに同窓会の存在を身近に感じてもらい、卒業後、同窓会に気軽に参加してもらえるよう努力していきたいと思っています。

